



デバイス コネクタ

- [デバイス コネクタ \(1 ページ\)](#)
- [デバイス コネクタの更新 \(1 ページ\)](#)

デバイス コネクタ

デバイス コネクタは、Cisco UCS Manager をクラウドホスト型のサーバ管理システムである Cisco Intersight に接続します。これにより、Cisco UCS Manager を Cisco Intersight を使用して管理およびモニタできるようになります。

クラウド内の Cisco Intersight にデバイスを登録するには、次の手順を実行します。

1. 必要に応じて、デバイス コネクタのプロキシ設定を行って、Cisco UCS Manager を Cisco Intersight と接続します。
2. デバイスのシリアル番号とセキュリティ コードを使用して、Cisco Intersight からデバイスへのアクセスを検証し、デバイスを要求します。

デバイス コネクタの更新

Cisco UCS Manager をアップグレードすると、デバイス コネクタは Cisco UCS Manager バージョンと統合されたイメージに自動的に更新されます。Cisco UCS Manager バージョンをダウングレードしても、デバイス コネクタはダウングレードされません。

Cisco Intersight GUI を使用して、デバイス コネクタを更新できます。Cisco UCS Manager CLI でローカル管理シェルの使用して、デバイス コネクタを更新することもできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# connect local-mgmt	ローカル管理モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	UCS-A(local-mgmt)# copy [<i>from-filesystem</i> :] [<i>from-path</i>] <i>filename</i> <i>to-path</i> [<i>dest-filename</i>]	<p>指定されたファイル転送プロトコルを使用して、デバイスコネクタのイメージファイルをリモートサーバからローカルの宛先にコピーします。ファイルは、1つのファブリックインターコネクタにのみコピーする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>from-filesystem</i> : コピー元のファイルを含んでいるリモートファイルシステム。 <p>このファイルは、次のオプションのいずれかを使用して指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ftp: [// [<i>username@</i>] <i>server</i>] • scp: [// [<i>username@</i>] <i>server</i>] • sftp: [// [<i>username@</i>] <i>server</i>] • tftp: [//<i>server</i> [:<i>port</i>]] <p>ファイルシステムを指定しない場合、現在の作業ファイルシステムが表示されます。</p> <p>サーバ名を指定せずに、リモートプロトコルを指定した場合、サーバ名の入力求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>from-path</i> : コピー元のファイルの絶対パスまたは相対パス。パスを指定しない場合、現在の作業ディレクトリが前提とされます。 • <i>filename</i> : コピー元のファイルの名前。 • <i>to-path</i> : コピー先のファイルの絶対パスまたは相対パス。パスを指定しない場合、現在の作業ディレクトリが前提とされます。このパスにはローカルファイルシステムが組み込まれており、コピー先のファイルが含まれています。 <p>このファイルシステムは、次のオプションのいずれかから指定できます。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • volatile: • workspace: • <i>dest-filename</i> : コピー先のファイルの新しいファイル名。<i>dest-filename</i> を指定すると、コピー元のファイルはコピー先で名前変更されます。 <p>(注) Cisco UCS Manager GUI を使用してデバイス コネクタのイメージファイルをダウンロードすることはできません。</p>
<p>ステップ 3</p>	<pre>UCS-A(local-mgmt)# update-device-connector workspace: volatile:/filename [skip-upgrade-on-peer]</pre>	<p>ピアのファブリック インターコネクタでデバイス コネクタ イメージを更新してから、ローカルのファブリック インターコネクタを更新します。</p> <p>skip-upgrade-on-peer オプションを使用すると、ピアのファブリック インターコネクタの更新がスキップされます。</p>

例

次に、両方のファブリック インターコネクタでデバイス コネクタを更新する例を示します。

```
UCS-A# connect local-mgmt
UCS-A(local-mgmt) # copy scp://username@10.100.100.100/filepath/filename.bin workspace:/
UCS-A(local-mgmt) # update-device-connector workspace:/filename.bin
Update Started
Updating Device Connector on peer Fabric interconnect
Successfully updated device connector on peer Fabric interconnect
Updating Device Connector on local Fabric interconnect
Successfully updated device connector on local Fabric interconnect
UCS-A(local-mgmt) #
```

次に、ローカルのファブリック インターコネクタのみでデバイス コネクタが更新される例を示します。

```
UCS-A# connect local-mgmt
UCS-A(local-mgmt) # copy scp://username@10.100.100.100/filepath/filename.bin workspace:/
UCS-A(local-mgmt) # update-device-connector workspace:/filename.bin skip-upgrade-on-peer
Update Started
Updating Device Connector on local Fabric interconnect
Successfully updated device connector on local Fabric interconnect
UCS-A(local-mgmt) #
```

